

N1

の

N2

基 本

例 文

- ① わたしのペンはこれです。
- ② 体育館たいいくかんのとなりとなりににプールプールがあります。
- ③ はさみはさみは机つくえの上うえにあります。
- ④ 田中たなかさんのとなりとなりにに木村きむらさんがいます。
- ⑤ あれは数学すうがくの教科書きょうかしょです。
- ⑥ A: 日本語にほんごの教室きょうしつはどこですか。
B: 2階かいです。
- ⑦ あしたのテストじはんは9時半じはんからです。
- ⑧ A: これはだれのかばんかばんですか。
B: わたしのです。
- ⑨ A: それはいつの新聞しんぶんですか。
B: きこのうのです。
- ⑩ 100円えんのを三つみつください。

解 説

- A. 名詞めいしと名詞めいしをつなぐ。(例文①～⑨)
- B. 「N1の」は、N2を修飾しゅうしよくする。(例文①～⑨)
- C. 「の」は、N1がN2の所有者しよゆうしゃであることを表す。(例文①⑧)
- D. 「N1のN2」で位置いちを表す。(例文②③④)
- E. 「の」は、N1がN2の種類しゅるいであることを表す。(例文⑤⑥⑦⑨)
- F. C、Eの場合、状況ばあいからN2が何なんであるかわかっているとき、N2は省略しょうりやくできる。(例文⑧⑨⑩)

例 文

① わたしは東京高校の木村です。

⑬ この人は友だちの田中さんです。

⑫ 日本には、春と夏と秋と冬の四つの季節
があります。

解 説

G. 「の」は、N1がN2の所属先であることを表す。(例文①)

H. N1とN2が同格の関係であることを表す。(例文⑫⑬)

先生へ

「の」は助詞。

【関連項目】

- 文-07 Aい / ANなN
- 文-28 NがA / AN + N
- 文-37 V + N

【「れんしゅう編」の練習】

- 2-4 わたしのとなり
- 2-6 だれのですか
- 2-7 どこにありますか
- 2-8 本は机の上にありますか
- 2-9 机の上にかばんがあります
- 2-10 わたしの学校